

明 表 信 所

令和 7 年 6 月

松伏町長 高野まさひろ

令和7年 所 信 表 明

令和7年6月議会定例会を招集申し上げたところ、議員の皆様にはご多用の中、ご参集を賜りまして、厚くお礼を申し上げます。

この度、私は、先の町長選挙におきまして、多くの町民の皆様からのご支持をいただき、松伏町長として町政を担わせていただくこととなりました。

与えられた使命と責任の重さをひしひしと感じるとともに、身の引き締まる思いです。

私は、令和2年4月に松伏町議会議員選挙に立候補し、最年少で初当選しました。

これまで、議員として、2期5年の間、「チェンジ松伏！」を掲げ、町政の透明化と改革を推進し、町民一人ひとりの声を大切にする政治を実現するために活動してきました。

これまでの活動を通じ、町長という立場でなければ実現できないことが数多くあることを実感しました。

そこで、私自身が町長となり、町民の皆様が主役のまちづくりに取り組んでいきたい、そのような思いを強く持ち、松伏町長への立候補を決意いたしました。

これからは、町長として、これまでの経験も活かしながら、リーダーシップを発揮し、国や県との連携を図り、議員の皆様並びに町民の皆様のより一層のご理解とご協力を賜りながら、職員と共に一丸となって松伏町の未来を創っていきたいと考えております。

それでは、町長就任後、初めての定例会ですので、今後の町政を運営するに当たり、所信の一端を述べさせていただきます。

私は、町民の皆様とお約束した4つの柱でまちづくりを進めていきたいと考えております。

1つ目の柱は、「町民が決める、町民と進める開かれた町政」です。

まず、町政の透明化を推進するため、町民の皆様の生の声を直接お聞かせいただく機会を設け、政策に反映させるほか、政策形成への意見募集など、町民参加型の政策決定プロセスを導入するとともに、公文書の公開を進め、誰もが見える、開かれた町政運営を目指します。

次に、町事業の優先順位を再整理するため、道の駅の建設は、ストップします。

また、今まで以上にスピード感と柔軟性を備えた行政運営の実現を目指します。

2つ目の柱は、「子育てしやすい松伏町へ、『子育て日本一』の町づくり」です。

まず、すべての子どもたちを対象に、給食費の完全無償化を目指すとともに、地産地消を推進し、安全・安心な給食を提供することで、地域と子どもたちを支えます。

次に、教育・子育て支援の充実を図るため、仕事と子育てを両立する環境の充実を進め、教育と家庭の両輪で子育て世代を力強くサポートします。

また、町の風土や伝統に触れながら、地域の歴史と文化に親しむ教育を推進し、子どもたちの郷土への愛着や誇りを育む教育を展開します。

3つ目の柱は、「未来の松伏をつくる、公共交通と健康の充実」です。

まず、東京直結鉄道の実現と公共交通の充実を図るため、高速鉄道東京8号線延伸

の早期実現に向け、県や関係自治体と連携し、強く働きかけを行います。

次に、交通安全と健康づくりの推進を図るため、みんなにやさしい道路環境の整備を図るとともに、高齢者や子育て家庭の交通安全と健康増進を支援します。

また、防災・医療・健康インフラの強化を図るため、AEDの設置を拡充するとともに、街路灯の設置などを積極的に進め、安全・安心のまちづくりを推進します。

4つ目の柱は、「強い松伏町の経済をつくる、産業・雇用・財政の改革」です。

まず、町の魅力を全国へ発信するため、「松伏ブランド」を醸成し、ふるさと納税を強化するとともに、農業・商業・工業の連携を図り、地域産業を元気にします。

次に、若者の定着と雇用を創出し、「働きたい町」への転換を図るため、企業誘致やテレワーク拠点の整備を目指し、町内で働く場を拡大することで、定住促進を推進します。

また、財政の健全化と行政改革を推進するため、最小の経費で最大の効果が見込めないなど非効率的な支出を徹底的に見直し、未来に必要な投資へ財源を集中するとともに、国などの補助金について積極的な活用を目指し、持続可能で責任ある行財政運営を確立します。

これら4つの柱の実現により、子育て・教育・働きやすさで若い世代が「住み続けたい町」、町民が誇れる「選ばれるまち松伏」を目指していきます。

以上、町政を推進するに当たり、所信の一端を述べさせていただきました。総じて、現在の課題を解決しつつ、未来への投資を拡大させていくものです。これらを町政運営に反映するための第一歩として、ここに「子育て全力応援のまち」を宣言し、職員

と共に一丸となって子育て施策に取り組み、松伏町の未来を切り開いていきます。

議員の皆様、町民の皆様におかれましては、限りないご助言とご指導、そしてご協力をお願い申し上げ、所信の表明といたします。

ありがとうございました。